

ただいま展示中

武市半平太他捕縛令（写）

たちちはんべいたほかほばくれい

中岡慎太郎館蔵

展示期間10/1（水）～12/1（月）

土佐勤王党盟主武市半平太ら勤王党の主要メンバーを捕縛する令状の写し。

文久3年（1863）9月21日、「京都に対してそのままにしておけないことがある」という理由で土佐藩庁は武市らを捕縛することにした。

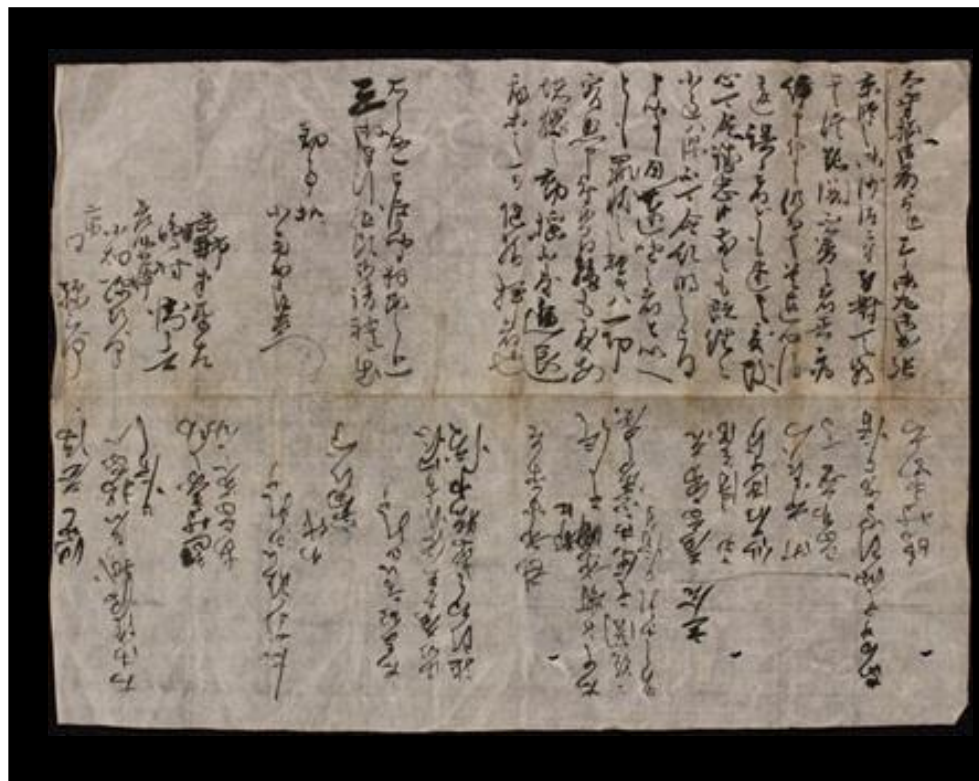
大目付役場は、藤岡勇吉・南清兵衛・関源十郎・島村団六・仙石勇吉・町市郎左衛門・岡本金馬ら武芸の達人である七人に武市の捕縛を命じた。

武市の身柄は、親類へお預けという形式で確保され、まもなく牢獄に入れられた。投獄生活は慶応元年（1865）閏5月11日の切腹まで、約2年間続いた。

武市が捕縛される日、妻の富は夫に声をかけることが許されず、駕籠に乗る後ろ姿を屏風の隙間からこっそり見送り、その場で泣き伏したという。これが今生の別れとなった。夫婦の愛は変わることがなく、のちに武市は「この世で会えなければあの世で話をしよう」と手紙で伝えている。

その他の展示資料
・徳弘斎画手本
・武市半平太画の墨竹図
・武市半平太らの判決文（写）など

※一部写真撮影OK
⇒この掲示が目印



X Blog HP



〒781-6449 高知県安芸郡北川村柏木140 TEL 0887-38-8600

近隣の史跡

◆中岡慎太郎生家

慎太郎館前の道を渡って徒歩1分。復元された慎太郎の生家が公開されています。大庄屋の風格ある佇まいをお楽しみ下さい。



◆田野学館跡

国道55線に戻る前に田野学館跡をのぞいてみましょう。現在は県立中芸高校になっています。ここで武市半平太が安政2年8月から一月ほど剣術指南を行いました。中岡慎太郎も指南を受けた一人です。



オリジナルグッズ

1階受付にて販売中

- ◆A5ノート¥250
 - ◆中岡慎太郎の代弁ふせん¥400
 - ◆スマイル慎太郎マスク¥150
 - ◆ポーチ¥800
- 他多数！



◎お向かいの「中岡家 / 慎太郎食堂」でひとやすみ。ランチも人気。

